

**2014年1月期2月度 月次業績動向 (2013年1月21日～2013年2月20日)**
**会社名 ピープル株式会社**

(http://www.people-kk.co.jp/)

代表者名 取締役兼代表執行役 桐瀬千鶴子

上場取引所: 大 TEL: 03-3862-2768

コード: 7865 問い合わせ先 IR担当 飛田留美子

(単位: 千円)

科目	《月次の対比》			《過去12ヶ月累積の対比》		
	2013年1月期 2月度	2014年1月期 2月度	前年 同月比	11/2/21～ 12/2/20	12/2/21～ 13/2/20	前年 同期間比
売上高	128,599	168,594	131.1%	2,809,378	2,891,480	102.9%
営業利益	3,345	△33,820	N/A	268,059	△78,914	N/A
経常利益	3,404	△31,567	N/A	269,106	△73,561	N/A
税引前利益	3,404	△31,567	N/A	267,206	△73,567	N/A
流動資産	2,093,598	2,003,212	95.7%	<b>【2014年1月期第1四半期 業績予想】</b> (2013年3月4日発表) [第1四半期会計期間 (2013/1/21～2013/4/20) 予想] ・売上高 6億19百万円(前年同期間比2.0%減) ・営業損失 35百万円(前年同期間比 - )		
固定資産	169,212	155,181	91.7%			
流動負債	318,791	306,393	96.1%			
固定負債	50,000	50,000	100.0%			
純資産	1,894,019	1,801,999	95.1%			
総資産	2,262,810	2,158,392	95.4%			

**商品別売上高**

商品カテゴリ一名	2013年1月期 2月度	2014年1月期 2月度	当月 構成比	11/2/21～ 12/2/20	12/2/21～ 13/2/20	当期間 構成比
乳児・知育玩具	33,913	56,973	33.8%	1,059,624	1,115,362	38.6%
女兒玩具	38,207	43,872	26.0%	748,234	629,895	21.8%
遊具・乗り物	40,123	24,949	14.8%	708,468	608,758	21.1%
その他	16,356	42,800	25.4%	293,052	537,465	18.5%
合計	128,599	168,594	100.0%	2,809,378	2,891,480	100.0%

**2月度新発売商品**

商品カテゴリ一名	商品名	発売日	標準小売価格(税込)
乳児・知育玩具	「ごきげん熱中チェア」	2013年2月4日	¥6,279
	「おひざにのんのちゃん」(シバ・ウサ・モル 計3種)	2013年2月4日	各¥2,604
女兒玩具	「おしゃべりおしゃぶり入り 子育て10点セット」	2013年2月4日	¥3,444
その他 (トイファニチャー)	「自分でハイチェア」(グリーン・レッド 計2色)	2013年2月4日	オープン価格

第37期、当2月度の売上高は1億69百万円、前年同月対比31.1%増と、玩具部門売上が支えたことで年明け後の前月1月度から連続で前年を超えました。国内市場全般は依然冷えた状況が続いていますが、当社の玩具部門では前年同月と異なり年明け滞留在庫が殆ど無い為、既存品の補充注文が順調な事や、新製品発売のセルインが重なり当月の売上高を押し上げました。

滞留在庫で鈍化した前年同月に対し著しく相違を示したのは、乳児・知育カテゴリで、ロングセラー品「やりたい放題ビッグ版」も健全に回転を示し、ピタゴラスシリーズ等も貢献しています。また、新製品では右脳と左脳をバランス良く育てる、座椅子タイプの知育玩具「ごきげん熱中チェア」(税込6,279円)の他、動物の赤ちゃんと同じ重さにした業界初の試みのぬいぐるみ「おひざにのんのちゃん」(税込2,604円)3種を一斉に発売し広告開始しました。

女兒玩具では、愛情シリーズが前年同月実績を上回って推移しており、新製品「おしゃべりおしゃぶり入り 子育て10点セット」(税込3,444円)発売に際しては、商品特徴のおしゃべりするおしゃぶりにお子様が熱中し、早くもお人形と同時購入が起きています。

当月の新製品セルインでの注目は、トイファニチャー第3弾「自分でハイチェア」(オープン価格)です。ダイニングテーブル用のお子様のハイチェアは1歳代のお子様が自力で登りたがる為、安全に楽しく登れる工夫をしました。ネット販売等で画像が立ち上がるや否やTV宣伝開始前に予約が入る等、育児用品流通の評判を呼んで好調な発売初動となりました。

当2月度は、このように新製品発売と広告による市場開拓投資が集中しているため営業利益に影響しています。

なお、輸入仕入に係る為替換算は四半期決算段階で実勢為替レートに洗い替える為、当月月次における売上原価は為替換算調整前の数値を用いて、営業利益、経常利益、税引前利益が算出されております。